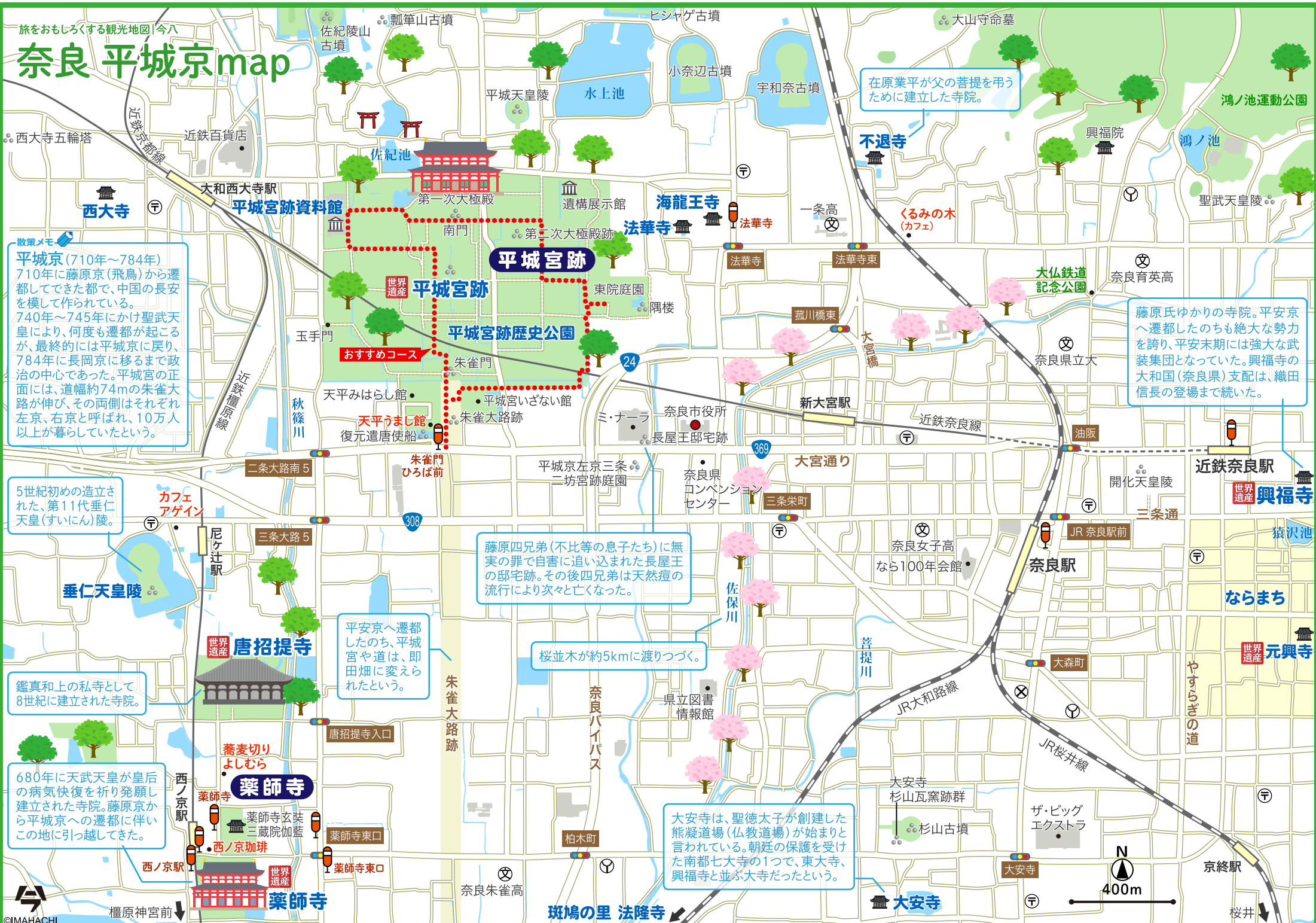


奈良 平城京map

旅をおもしろくする観光地図|今八



散策メモ
平城京(710年~784年)
 710年に藤原京(飛鳥)から遷都してできた都で、中国の長安を模して作られている。740年~745年にかけ聖武天皇により、何度も遷都が起こるが、最終的には平城京に戻り、784年に長岡京に移るまで政治の中心であった。平城宮の正面には、道幅約74mの朱雀大路が伸び、その両側はそれぞれ左京、右京と呼ばれ、10万人以上が暮らしていたという。

5世紀初めの造立された、第11代垂仁天皇(すいにん)陵。

鑑真和上の私寺として8世紀に建立された寺院。

680年に天武天皇が皇后の病氣快復を祈り発願し建立された寺院。藤原京から平城京への遷都に伴いこの地に引っ越してきた。

平安京へ遷都したのち、平城宮や道は、即田畑に変えられたという。

藤原四兄弟(不比等の息子たち)に無実の罪で自害に追い込まれた長屋王の邸宅跡。その後四兄弟は天然痘の流行により次々と亡くなった。

桜並木が約5kmに渡りつづく。

大安寺は、聖徳太子が創建した熊凝道場(仏教道場)が始まりと言われている。朝廷の保護を受けた南都七大寺の1つで、東大寺、興福寺と並ぶ大寺だったという。

在原業平が父の菩提を弔うために建立した寺院。

藤原氏ゆかりの寺院。平安京へ遷都したのちも絶大な勢力を誇り、平安末期には強大な武装集団となっていた。興福寺の大和国(奈良県)支配は、織田信長の登場まで続いた。